

2023 年（第 68 回）一級臨床検査士資格認定試験 受験申請の手引き

【目的】

一級臨床検査士とは、医療における臨床検査の意義を理解し検査技術に熟達するのみならず、検査技術の理論に精通し新しい検査法を正しく採り入れる力量を有するとともに、検査室にあっては指導的技術者として協調性をもち、日常検査業務の管理をする能力を有している者であり、本試験ではその力量を判定する。

二級臨床検査士の資格を有する者に対して相当する次のいずれかの科目について行うものである。

1. 受験資格

臨床検査技師（国家試験）資格取得後 5 年以上の実務歴又は教育歴を有し、かつ二級臨床検査士資格認定試験当該科目に合格後 3 年以上の実務歴又は教育歴を有し、検査室の指導的技術者として適当な人物であることを所属長が証明した者。

下記に該当する者は 2020 年の受験は不可とする。

- (1) 前年の日本臨床検査同学院が行った資格認定試験を無断欠席した者。
- (2) 前年の上記 1 次受付の抽選や繰上で受験可能となった後、受験辞退の連絡なく願書を提出しなかった者。

2. 試験方法

(1) 1 次筆記試験（出題基準参照）を行う。

- ① 共通・専門英語試験：共通英語 1 時間・専門英語 1 時間（英文出題基準あり）

（共通・専門英語出題基準参照）*

- ② 専門筆記試験：2 時間

- ③ 共通・専門英語試験については共通・専門英語が不合格の場合、専門筆記試験が合格であれば実技試験が受けられる。ただし、英語試験は 3 年の間に合格しなければならない。

英語試験が合格しても専門筆記が不合格の場合、1 次筆記試験は不合格となる。

(2) 2 次実技試験（出題基準参照）

1 次専門筆記試験に合格した者のみ受験できる。実技は各項目の単位制合格とし、全単位が成績優秀な者を合格とする。合格の有効期限は 3 年間とし、不合格の単位はその間に 2 回受験ができる。

3. 共通・専門英語試験

(1) 出題形式

- ① 共通問題は高卒程度の文章を出題する。
- ② 専門問題は下記の参考学術誌※の論文・総説から出題される。対象は過去 2 年の間に発行された学術誌とするが、関連内容であればこれ以外からも出題される。
- ③ 英語辞書 1 冊持込み可。医学辞書・ライフサイエンス辞書および電子辞書は不可。

※参考学術誌

科 目	著書・雑誌名
微生物学 (寄生虫を含む)	Journal of Clinical Microbiology Clinical Microbiology Review Clinical Infectious Diseases
病理学	Acta Cytologica Acta Histologica Biotechnic & Histochemistry J. Histochem & Cytochem Manual of Histologic Staining Methods Pathology International
臨床化学	Clin Chem Clin Chim Acta Ann Clin Biochem
血液学	Wintrobe's Clinical Hematology Blood Journal of Thrombosis & Haemostasis
免疫血清学	Immunology Essential Immunology Transfusion
循環生理学	Circulation Eur Heart J J Am Coll Cardiol Nat Rev Cardiol JAMA Cardiol
神経生理学	Clinical Neurophysiology (旧 EEG Journal) Sleep Brain Muscle Nerve
呼吸生理学	Chest Journal of Applied Physiology (J Appl Physiol) European Respiratory Journal (Eur Respir J) American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine (Am J Resp Crit Care Med)

上記以外に、Nature, Science, New England Journal of Medicine, Lancet, Journal of Clinical Investigation などの総合学術誌に掲載される当該専門領域の論文から出題されることもある。

4. 試験科目 (注：1回1科目に限る)

- (1) 微生物学 (2) 病理学 (3) 臨床化学 (4) 血液学 (5) 免疫血清学 (6) 循環生理学
(7) 神経生理学 (8) 呼吸生理学

5. 合格者の決定

合格者は、試験委員会で決定される。合否は、受験者に個別に通知する。

6. 試験の日程および会場

- (1) 1次筆記試験：日 程 2022年9月30日(土) 11時30分～16時
会 場 都内（東日本）、大阪大学（西日本）
会場は変更になることがある。
- (2) 2次実技試験：日 程 合格者に受験票配布とともに連絡される。
会 場 東京近郊の数ヶ所にて行なわれ、受験者は移動して受験する。
※ 実技試験は白衣と手袋を着用する。

7. 受験申請書の作成および提出期間

作成期間：2023年7月18日（火）13：00～8月26日（土）

受付期間：2022年8月15日（火）～8月26日（土）（消印有効）

(1) 提出書類

	様式No
1) 願 書	1-1
2) 申請書提出用封筒ラベル	
3) 提出書類チェックシート	2-1
4) 写真 2枚（願書、受験票各1枚）	受験料振込、 提出書類について
5) 返信用封筒 2枚（受験票、合否通知用各1枚）84円切手添付	
6) 二級臨床検査士認定証のコピー ※英語試験、2次実技試験の再受験者は不要	
7) 受験料振込受領証のコピー	

(2) 作成上の注意事項

- ① 1)～3) はホームページよりダウンロードし、「受験料振込、提出書類について」を確認、必要事項を記入のうえ、指定の期日までに送付する。
- ② 記載内容に不備や不明な点がある場合は、試験委員会から説明を求めることがある。

8. 受験料

- (1) 1次筆記試験：22,000円（税込） 英語のみ再受験：11,000円（税込）
- (2) 2次実技試験：33,000円（税込）（1次受験合格者のみ納付）
- (3) 1次英語再受験+2次実技試験：44,000円（税込）
- (4) 審査の結果、受験資格が満たされなかった場合、受験料は返金する。それ以外は一旦納入した受験料は返却しない。

9. 認定登録

試験に合格し、試験委員会で承認された者に対して日本臨床検査同学院（以下「当法人」という。）が認定を行う。認定証発行手数料 5,500 円（税込）を納付後に当法人より認定証を発行する。

10. 登録更新

- (1) この資格は更新制とする。資格登録期間は、2024 年 1 月 1 日から 2028 年 12 月 31 日。更新しなければ一級臨床検査士の資格は効力を失う。
- (2) 更新申請をする者は 5 年間に更新申請の資格審査基準を満たす単位を取得しなければならない。更新時には更新申請に必要な書類を提出し、所定の資格更新試験を受験して、これに合格しなければならない。
- (3) 更新料は 11,000 円（税込）とする。
- (4) 更新の猶予がある。

11. 変更届

氏名、現住所、勤務先に変更が生じた場合は必ず変更届をホームページから行う。

12. 個人情報の保護について

申請された内容は試験委員会において管理し目的外には使用しない。ただし、合格者の勤務先、氏名は許諾を得て公表する。